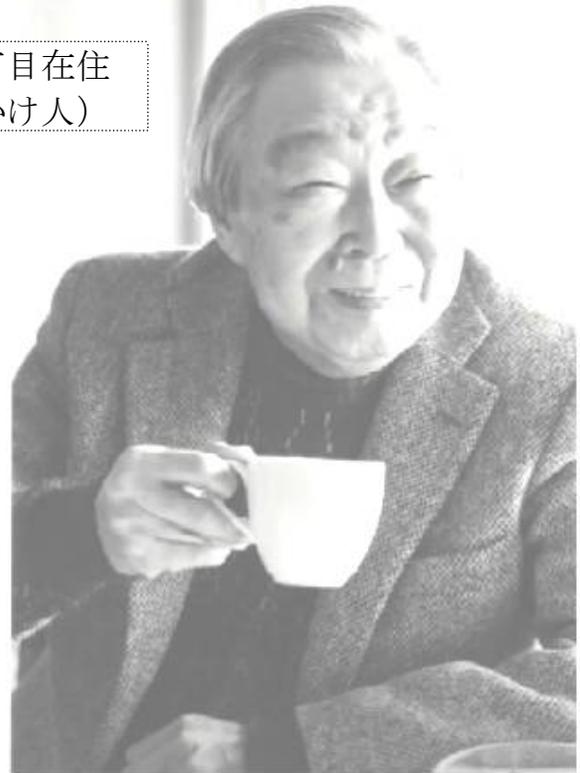




2010年6月5日発行の 九条の会東京連絡会 ニュース 第9号 転載

戦争は殺人大会！

小沢 昭一 (俳優・代田2丁目在住
代田・九条の会 呼びかけ人)



太平洋戦争が激しくなると、当時中学生だったので毎日、勤労動員でした。最初は防空壕掘り、次が疎開家の取り壊し、それから大井町の三菱重工の工場での板金作業だった。私は忠君愛国の戦車のドコントロールで軍国少年だったから、どんな仕事も苦勞とも思わず、休憩時間に演芸をやったり楽しんでいました。正俊君(後のフランキー堺)や加藤武君(文学座)、大西信行君(劇作家)、内藤法美君(作曲家、越路吹雪のダンナ)も、私と競演だった。ネタを仕入れるために私の寄席通いが一段と激しくなりました。私の春、中学三年で海軍兵学校に入学し、長崎県針尾島に入りましたが、九州上陸情報で山口県防府に移った。半年足らずで八月十五日を迎えて、敗戦。悔しかったが、これが東京へ帰れるぞという喜びの方が強かった。東京に戻ったが、わが家は空襲で跡かたもなく、

祖母も空襲で命を失った。焼け跡暮らしで、空腹に耐える日々が続いた。「配給だけでは死」という新聞記事が出たが、明日はわが身だった。そこで、はじめて敗戦を実感した。「神風は吹かなかった。だまされていた」。親も先生も新聞もラジオも、何もかも戦争を賛美していたのに、それがまやかしかつたのか。肉親を失い、ひもじさなどの戦争で味わった辛さにもう二度と戦争はこりこりだということと、「何事ももう信じない」というニヒルな気持ちになったのだった。

安閑(あんかん)の生(せい) また八月の十五日

変哲

あれから、六十五年。いい世の中を過ごさせてもらったね。憲法はいじらなくてよい。このままでもいいよ。

いま、世の中、乱れてきていることはほんとうに嘆かわしい。政治家に対する不信感もみなさんと同じです。いま問題になっている普天間基地、沖縄のこと、戦争なんかやめて負けたこと、そこから何もかも始まっていることを若い人たちは、政治家もわかっていない。NHKの『坂の上の雲』。なんだか軍服姿を憧れるような番組などはいかがなものだろうかと思う。戦争は人殺し大会。人と人が殺し合うのが戦争だ。それ以外の何ものでもない。

(聞き手：高岡岑郷)

「後記」 紹介した一句は四十年ほど前の作品とのこと。超多忙な小沢昭一さんが一時間半も語って下さった。千字以内でまとめるなど乱暴なこと。次の著書などをぜひ読んでくださるようお勧めします。岩波現代文庫『戦争を知っている子供たち―わたしたち史発掘』 岩波新書『道楽三昧―遊びつづけて八十年』 文春文庫『話にさく花』『散りぎわの花』『老いらくの花』

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、
「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～
+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++

最近の新聞を読んで

★ 鳩山首相の退陣

6月2日、鳩山首相は、民主党の小沢幹事長ともども、辞任した。「普天間基地の移転問題」と「政治とカネの問題」がその理由である。

「5月末までに」としていた普天間基地の移転問題については、5月29日付各紙が「辺野古移設閣議決定」と伝えたように、アメリカとの合意を優先して、沖縄をはじめとする国民の要望に反するものであったので、その責任を取ることは当然ともいえる。

★ 普天間基地は

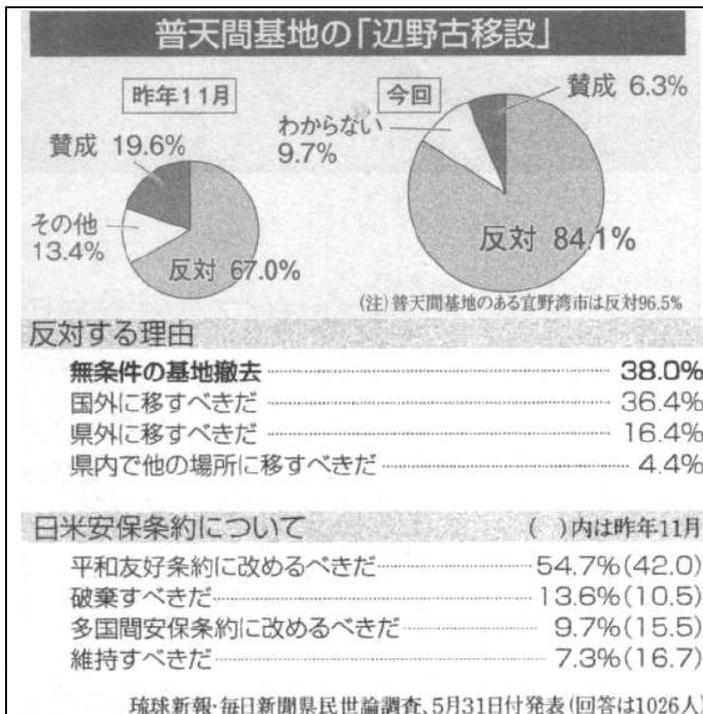
首相の後任には、菅直人氏が就任した。11日の国会での所信表明演説では、三本柱の一つに「責任感に立脚した外交・安全保障政策」を掲げ、「普天間基地移設問題では先月末の日米合意を踏まえつつ」と、前内閣の「辺野古移転」方針を踏襲するとした。鳩山辞任の真の原因を取り除く方向は示さなかった。

5月31日の琉球新報・毎日新聞の県民世論調査の結果、昨年11月よりも「辺野古移設」に反対の回答が増え、84%にも達している。菅内閣はこうした県民の声にもっと耳を傾けるべきと思うのだが。

★ ところで、世界の動きは

国連のNPT（核不拡散条約）再検討会議は、5月28日、最終文書を全会一致で採択した。アメリカをはじめとする核保有国の核廃絶がどう進められるのか、北朝鮮、イラン、イスラエル等「核疑惑」をどう解決していくのか、など、課題は多々あるにせよ、世界の動きは「行動計画をどう実行していくのか」という段階に移ろうとしている。

菅首相が「核のない世界」に向け、我が国が先頭に立ってリーダーシップを発揮」（所信表明演説）するというなら、どう行動するかが問われていると思う。（伊東 宏 代田2丁目）



集 会 等 の 紹 介

6月26日(土) 10:00~17:00 シンポジウム

軍事同盟のない世界へ 改定50年の安保条約を問う

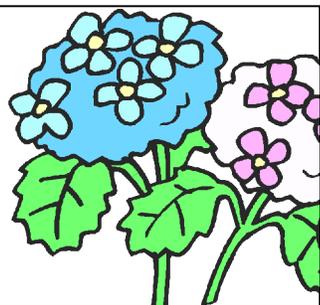
講師 中村政則・増田正人・水島朝穂 氏

会場 明治大学駿河台キャンパス・リバティタワー 資料代：一般1000円

主催 実行委員会 (連絡先 日本民主法律家協会 Tel 03-5367-5430)

ようこそ新しい仲間 (新入会員)

小倉 恵子さん(船橋6丁目) 勝又 重孝さん(代田4丁目)
田口 幸子さん(代田3丁目) 大越 治子さん(大原1丁目)



お願い：ニュースの原稿を募集しています。400字位で、お近くの世話人までお寄せください。

日本国憲法

- 第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない

代田・九条の会 資料集 「憲法記念日によせて お話と歌のつどい」

5月8日の「つどい」の資料集ができました。当日、嬉野さんの使用された写真などを掲載しています。 1部：500円 ご希望の方は 伊東まで (Tel/Fax 03 - 3411 - 9179)